

JCMU newsletter

ミシガン州立大学連合日本センター

The Japan Center for Michigan Universities

No. 57
2014 春

Director's Report

Benjamin McCracken, JD
Resident Director
of The Japan Center For Michigan Universities

ベンジャミン・マクラケン
ミシガン州立大学連合日本センター所長

JCMU 25th Anniversary

It is hard to believe that it has been 25 years since JCMU first opened its doors. Since that time students from the United States and Japan have come to JCMU to learn language as well as culture. It is difficult to measure the impact JCMU has had on the lives of its students, but I can tell you from personal experience that JCMU was a life changing experience.

I am lucky enough to have been a student at JCMU and to also come back and work at JCMU as the Resident Director. I was a student at JCMU during the 10th Anniversary. I can remember thinking that it was a pretty amazing thing to be part of a school with such an important mission. I came back for the 20th Anniversary, and was yet again blown away by JCMU and the work that it was doing. Now to be here as part of JCMU for the 25th Anniversary I can only say that it is great to be part of something as special as JCMU.

As we celebrate 25 years it is easy to focus on the past and not mention that we are on the path to making the next 25 years of JCMU even better than the first. New programs such as Kokunairyugaku and Summer Internship bring Japanese and American people together and work towards cultural understanding and language acquisition. These programs take full advantage of JCMU's unique living learning environment and in the tradition of the Ohmi-merchants create a win, win, win situation for the students, JCMU, and the world.

JCMU could not be the place it is without the numerous students that have come here to study English or Japanese. Students are the lifeblood of this center and are the greatest ambassadors for their home country, school, and JCMU. As JCMU looks back over the previous 25 years we are so proud of our students and work they are doing around the world.

It is also important at this time to thank Michigan and Shiga for having both the vision and the perseverance to create and maintain JCMU. Without the special friendship that exists between Michigan and Shiga, JCMU would not be possible.



JCMU 25周年

JCMU設立から25周年を迎えたということは信じがたいことです。開設以来、アメリカと日本の受講者の皆さんはJCMUで語学と文化について学んできました。JCMUが彼らの人生にもたらした影響を測ることは難しいですが、自分の個人的な体験では、JCMUは私の人生を変える経験を与えたと言えます。

私は、幸運にもJCMUで学生として学び、さらにJCMUの所長として戻ってまいりました。私は、10周年の時にJCMUの学生でした。その時、このような重要な時に学校に関わっているということがとても素晴らしいことであると考えていたことを覚えています。私は、20周年の時にも戻ってきましたが、その時にもJCMUが以前と同様の役割を果たしていることに驚きました。今、ここでJCMUの一員として25周年を迎え、JCMUのような特別のもの的一部分であることが大変素晴らしいことであると言わざるを得ません。

25周年を記念するにあたって、過去に焦点を当てるだけで、今後の25年をこれまでよりさらにいいものにしていく過程にあると言及しないのは容易です。国内留学やサマーインターンシップなどの新しいプログラムは、日本とアメリカの学生が集い、文化理解や言語習得に向け努力する機会を与えるものです。このようなプログラムは、JCMUが持つ特別な生活環境を最大限に生かしたものです。また、近江商人の伝統のなかで生まれた三方よしということがありますが、学生、JCMUと世界の三方によしと言えるプログラムです。

JCMUは、ここに来て英語もしくは日本語を学ぶ多くの受講者の皆さんなくしては成り立ちません。彼らは、JCMUに欠かせないもので、自国、学校、JCMUにとって最重要な大使でもあります。これまでの25年を振り返って、元受講者が世界中で活躍していることを誇りに思います。

ここで、ミシガン州と滋賀県が、先見の明と粘り強さを持って、JCMUを造り、維持していることに感謝申し上げなければなりません。ミシガンと滋賀の特別な友好関係がなければ、JCMUの存在はあり得ませんでした。

滋賀県とミシガン州との交流について

今年25周年を迎えたJCMUIは、滋賀県とミシガン州との姉妹協定20周年を記念して、①日米両国、とくに滋賀県とミシガン州とのさらなる友好関係の発展に寄与する、②双方の人々が共に学習・研究する場を通じて、語学、文化、習慣などについて相互の理解と認識を深める、③広く地域に開かれた国際教育交流の拠点とする、という目的で1989年に設立されました。

以来、JCMUIの施設の管理は（公財）滋賀県国際協会が、教育・研究はミシガン州の15の州立大学の連合体があたり、地域の協力も得ながら、これまでに例のない画期的な事業展開を図ってきました。

ここで、改めてこれまでの滋賀県とミシガン州との交流について振り返ってみます。



姉妹県州協定までの経過

1967年4月、米国内務省国立公園局次長テオドル・スエム氏が琵琶湖国定公園を視察するため来県した際、当時の野崎滋賀県知事は、米国内に湖を持つ州との姉妹提携の斡旋を依頼しました。

翌年5月、大橋滋賀県商工労働部長がミシガン州を訪問し、姉妹提携の打診をしたところ、同年

9月にミシガン州自然資源局長ラルフ・マクマラン博士が来県し、姉妹提携の締結について合意に達しました。姉妹提携の内容は、湖を有する県・州の特有を活かした自然環境の保全・保護に重点を置き、経済・生活文化を中心とした住民相互の友好親善を推進することでした。

1968年11月、野崎知事が渡米し、州都ランシング市でジョージ・ロムニー知事と姉妹協定に調印しました。



主な交流経過

姉妹協定提携後の主な経過は次のとおりです。

1968(S43)年	滋賀県・ミシガン州姉妹協定調印(ランシング市)
1969(S44)年	ミシガン州経済使節団来県
1970(S45)年	滋賀県観光物産展開催(デトロイト市、グランド・ラピッズ市)
1976(S51)年	第1回滋賀県友好親善使節団ミシガン州訪問
1977(S52)年	第1回ミシガン州友好親善使節団来県…以降隔年ごとに相互訪問派遣を実施
1982(S57)年	琵琶湖汽船の大型外輪船ミシガン就航 ジャパンアドベンチャープログラム開始
1984(S59)年	第1回世界湖沼会議開催(大津市)
1985(S60)年	ミシガン・フェア開催(滋賀県) 第1回滋賀県交換教員をミシガン州へ派遣
1986(S61)年	第2回世界湖沼会議開催(ミシガン州マキノー島) 第1回ミシガン州交換教員が来県
1989(H1)年	ミシガン州立大学連合日本センター設立(彦根市)
1990(H2)年	高校生相互派遣事業開始
1992(H4)年	ミシガン州副知事が滋賀県、JCMUを訪問
1993(H5)年	姉妹提携25周年記念行事 長浜子供歌舞伎公演(ランシング市) '93姉妹交流国際会議(滋賀県彦根市)
1995(H7)年	ミシガン州知事を名誉団長とする第10回ミシガン州友好親善使節団来県、JCMUを訪問
1998(H10)年	姉妹提携30周年記念行事 江州音頭ふれあい交流会(サウスフィールド市、ランシング市)
1999(H11)年	ミシガン州副知事を名誉団長とする第12回ミシガン州友好親善使節団来県、JCMUを訪問
2001(H13)年	第9回世界湖沼会議(大津市)が開催され、ミシガン州知事が来県、JCMUを訪問
2003(H15)年	第10回世界湖沼会議(イリノイ州シカゴ)に出席する滋賀県知事がミシガン州を訪問
2004(H16)年	ミシガン州立大学連合日本センター15周年記念行事(州立大学・州政府関係者来県)
2005(H17)年	経済ミッションで来日したミシガン州知事が来県、JCMUを訪問 経済交流駐在員の派遣開始
2008(H20)年	姉妹提携40周年記念行事 ランシング市で開催された記念式典に県民40名からなる使節団が参加
2009(H21)年	ミシガン州立大学連合日本センター20周年記念行事(州立大学・州政府関係者来県)
2010(H22)年	滋賀県知事がミシガン州を訪問
2014(H26)年	ミシガン州立大学連合日本センター25周年

JCMU 公開講座

滋賀県国際協会では、ミシガン州立大学連合日本センターと連携し、地域社会の国際化と国際理解に貢献できるように毎年様々なテーマでの公開講座を開催しています。

平成25年度に開催済みの3回と、3月に開催を予定している2回の公開講座をご紹介します。

第94回公開講座

「進歩するアメリカ女性—自由・独立・個性—について」
6月25日(土) 会場：JCMU



同志社大学グローバル・コミュニケーション学部中村准教授に講演いただきました。

この公開講座では、アメリカの女性の生活や取り巻

く状況が過去数十年で大きく変化している中で、彼女たちがいかに進歩しているか、教育、生活、仕事に焦点をあてて、英語でお話いただきました。

「アメリカの日本との統計比較などがあり、興味深く聞かせてもらった。」「日本人による英語の公開講座は興味深く、いろいろなことを知ることができた。」などの意見をいただきました。

第95回公開講座

「グローバル社会の英語—逐次通訳も試してみよう—」
9月28日(土) 会場：ピアザ淡海(大津市)



大変好評でした前回の公開講座に引き続き、同志社大学グローバル・コミュニケーション学部の中村先生に講師をお願いしました。今回の公開講座は、大津市のピアザ淡海を会場とし、英語学

習、プレゼンテーション、通訳というコミュニケーション法について英語で講義いただいた後、ご参加の皆様簡単に初歩的な逐次通訳にも挑戦していただきました。

第96回公開講座

「JCMUで学んだこと」
12月8日(土) 会場：JCMU



昨年12月6日の第90回公開講座と同テーマで開催しました。今回は日本語を学ぶJCMU学生3名が日本語で、英語プログラム受講者4名が英語で、JCMUで学んだこと、旅行先の思い出など、様々なテーマでスピー

チしました。努力して語学の勉強に取り組んでいる姿に参加者から大きな拍手が送られました。

ただいま参加募集中

詳しくは当センターHPまたはちらしをご覧ください

第97回 公開講座

「伝統的な英語教育手法の充実」

3月8日(土) 13:30~15:00

会場：ウイングプラザ栗東4階研修室D

講師：Dusty Wittman ダスティ・ウィットマン

滋賀県立草津東高等学校 外国語補助教員 (ALT)

第98回 公開講座

「いろいろな経験は変化に富んだ人生をもたらす」

3月15日(土) 13:30~15:10

会場：JCMU 2階大会議室

講師：JCMU英語プログラム教官3名、

JCMU学生支援コーディネーター1名

JCMU英語プログラム 2014春季受講生募集!!

<彦根コース>

ミシガン日本センター(彦根市松原町)

4月7日(月)~6月28日(土)

デイトタイム (月~金 10:40~14:40)

夜間マルチスキル (月・木 19:00~20:30)

土曜モーニングマルチスキル(土 9:00~12:10)

中学生のための英語講座 (土 13:00~14:00)

週1回からの受講が可能です

<土曜こども英語教室>

2014年4月12日(土)~2015年3月14日(土)

<ディリパ彦根コース>

楽しく学ぶ英会話 (木 10:00~14:30)

<栗東コース>

ウイングプラザ(栗東市緒)

4月8日(火)~6月24日(火)

夜間マルチスキル (火 19:30~21:00)

<南草津コース>

草津市立市民交流プラザ(草津市野路)

4月9日(水)~6月25日(水)

夜間マルチスキル (水 19:30~21:00)

申込締切：3月22日(土)

※受講時間数によってはセンター付属寮の宿泊施設に入寮し、アメリカからの留学生とルームメイトになることも可能です。

詳しくは当センターHPまたはパンフレットをご覧ください。